ロシア･ウクライナ戦争は、半導体に左右された?!

板木ゼミ発表班

<u>私達の抱く戦争の武器のイメージ</u>
軍艦、銃、ミサイル、人が直接手を加える争い方

しかし

<u>ロシア・ウクライナ戦争で使用された武器</u>
無人機、レーザー、**ドローン**

無人機の3つのメリット

①費用対効果

数十万で製造されたものが8億の戦車を一瞬で破壊。

②生産性

大きな生産ラインを必要とせず、民間で短期的に大量生産可能。

③実効性

衛星データでピンポイントに敵を狙う。

当初、劣勢と言われたウクライナが、ロシアに対抗しているカギは半導体にある。

ロシアのドローン

半導体✕

アメリカなどの西側諸国からの禁輸措置で半導体の調達が難しい。

ウクライナのドローン

半導体〇

自爆機、偵察機など国内でも生産強化。

「大艦巨砲の時代が終わり、小さく、軽く、少人数で操作でき、短期間で配備できるドローンが戦場の主役になろうとしている」ドローンを駆使しているのが半導体チップ。

参考文献

1. NHK（2024), “無人機戦争-拡散する新たな兵器
https://www3.nhk.or.jp/news/special/international_news_navi/articles/feature/2024/03/19/38115.html
2. 日本経済新聞(2023), ”ロシア、半導体など部品不足深刻　ウクライナ侵攻1年“
https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGR28BXP0Y3A220C2000000/
3. 太田泰彦(2024),”2030半導体の地政学“、日本経済新聞出版　301ページ。